平成24年度

十勝シーニックバイウェイ

”トカプチ雄大空間”活動報告

１．ルート運営活動計画の進捗状況
２．活動団体の活動状況及び課題
３．ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
４．ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
５．平成２３年度活動報告への助言に対する状況報告

1．ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称：十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート	報告者：十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告年月日：2013/3/31

	ルート（エリア）運営活動計画方針	ルート（エリア） 運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
観光	陸・水・空・時の四次元ルートを完成させ、日本で有数の観光客を集客するために、基本となる十勝人の歴史や十勝のスイーツについて学び、ライフコンシェルジュの育成と女性プロジェクトを実践し、ルートの地域資源発掘に力を入れる。そして、これらを基に魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行う。更に、地域住民と観光客との双方向コミュニケーションを充実させていく。	連携・体験事業	1	トカプチまる得めぐり券事業	トカプチ雄大空間	平成24年4月28日（土） ～10月14日（日）	326枚販売	A － 1	今年度は、観光施設20、市内ホテル13、観光案内所等8箇所でチケットの委託販売を実施した。（2000円・1200円の2種類） 平成25年度は、とかちガーデンスイーツ温泉チケットと名称および企画内容を一新した結果、JR北海道およびJTBの旅行商品に組み込みが決定し、更なる販売促進を期待している。来年度も関係施設や旅行エージェントに売り込みを行って定期的な収入になるよう、トカプチまる得めぐり券の販売先を広げていく予定である。
		連携・体験事業	2	秋の十勝満喫モニターツアー	トカプチ雄大空間	平成24年10月13日（土） ～14日（日）	定員30名	—	十勝は農業王国とともにスイーツも人気があることから、女性を対象とした観光商品企画の検証としてトカプチまる得めぐり券を活用したモニターツアーを実施。参加者から概ね好評をいただいた。また、参加者へのアンケート調査も実施しているので、その結果から今後の商品化を検討していくこととしている。
		連携・体験事業	3	QRコードラリー トカプチクーポンブック	トカプチ雄大空間	平成24年7月21日（土） ～10月29日（月）	登録数160名 クーポン使用実績1747名	—	トカプチエリア内30施設をめぐる携帯スタンプラリー。各施設で利用できる割引やサービスなどのクーポンやめぐった箇所でプレゼントが当たるなどのインセンティブを付けて、エリア内を広く周遊してもらう内容とした。
		発信事業・プロモーション事業	4	プロモーション活動 （癒とりフェスタ事業含む） ・北海道新聞花火大会 ・十勝平原サービスエリア ・マルシェ・ジャポンin青山	北海道新聞社 道東道とかち連携協議会 オール十勝連携会議	平成24年8月25日（土） 平成24年9月15日（土） 平成24年6月16日（土）	一般：各イベント500人以上 ルート：15人程度（各イベントでPR）	—	今年度は十勝管内の他、関東圏でもオール十勝の観光PRを積極的に行った。ライフコンシェルジュのおもてなしは各イベントで好評だったことから、引き続き続けていく予定である。
		癒とりフェスタ事業	5	ライフコンシェルジュ育成事業 ※派遣イベントは下記の通り	トカプチ雄大空間	平成24年5月～10月末	ライフコンシェルジュ（延べ：30人程度） 主催：延べ10人程度	A － 2	十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」の育成事業の今年の大きな動きとして、十勝川温泉旅館組合の依頼より、期間中の月曜または金曜日（10時～15時）に十勝ヶ丘展望台に2名×35回の派遣を行い、大きな実績となった。 その他、6つのイベントについてライフコンシェルジュの派遣を行うなど積極的に活動を実施した。 今後は、この活動実績を活かし、ビジネス化に向けた事業として実施できるように検討していく。
				①十勝ヶ丘展望台ライフコンシェルジュ派遣事業	トカプチ雄大空間	平成24年5月7日～10月26日	ライフコンシェルジュ6人を派遣		
				②ライフコンシェルジュと回るバスツアー（ライフコンシェルジュ協力）	帯広商工会議所	平成24年7月7日（日）	ライフコンシェルジュ7名 一般参加者25名程度		
				③北海道新聞花火大会プロモーション（ライフコンシェルジュ協力）	北海道新聞社	平成24年8月25日（土）	ライフコンシェルジュ3名派遣		
				④とかちマルシェ・十勝観光案内所（ライフコンシェルジュ協力）	とかちマルシェ実行委員会	平成24年9月1日（土）～2日（日）	ライフコンシェルジュ12名派遣		
				⑤とかちばん馬まつり・十勝観光案内所（ライフコンシェルジュ協力）	ばん馬と地域振興を図る会	平成24年10月13日（土）～14日（日）	ライフコンシェルジュ12名派遣		
				⑥秋の十勝満喫モニターツアー（ライフコンシェルジュ協力）	トカプチ雄大空間	平成24年10月13日（土）～14日（日）	ライフコンシェルジュ4名派遣		
				⑦札幌国際大学連携事業「十勝学フィールドワーク」（ライフコンシェルジュ協力）	帯広商工会議所	平成24年10月21日（土）	ライフコンシェルジュ2名派遣		
		発信事業・プロモーション事業	6	トカプチ情報ボックス事業	トカプチ雄大空間	平成24年8月～10月末	エリア内7拠点	—	トカプチ雄大空間エリア内の観光拠点にPRのため設置している「トカプチ情報ボックス（観光パンフレット設置ラック）」にルート内施設の観光パンフレットなどを期間中4回程度配布を行った。主に観光施設に設置しており、お客様からの需要も高いので、今後も実施していく予定である。

1．ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称：十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート	報告者：十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告年月日：2013/3/31

	ルート（エリア）運営活動計画方針	ルート（エリア） 運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
		発信事業・プロモーション事業	7	トカプチマップ事業	トカプチ雄大空間	平成24年12月発行	7万部作成	A － 3	昨年度に引き続き、エリア内の観光PRを含めた地図の作成、配布を行った。今年度は、持ち運びやすさや部数増刷を目的にサイズを改善。エリア内の各自治体の協力も頂き、7万部を印刷。エリア内、札幌市内を中心に配布している。観光客からの地図の需要は高いので、プロモーションと合わせて今後も続けていく予定である。
		連携・体験事業	8	北海道カフェスイーツ街道事業	北海道カフェ・スイーツ街道協議会（予定）	－	－	—	帯広観光コンベンション協会や十勝毎日新聞社をはじめとした観光・メディア関係者と連携を行い、実施に向けて検討を続けている。
地域づくり	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	発信事業・プロモーション事業	9	新千歳空港ターミナルビル 北海道ショールーム「1周年記念施策」 北海道魅力発見博への協力 ＜観光PR活動＞	シーニックバイウェイ北海道	平成24年7月14日（土）～8月26日（日）の期間中、1週間単位で各エリアごとにイベントを実施 平成24年8月5日～12日（十勝エリア）	ルート参加者：10名程度 関係者全体：200人程度	—	情報ハブおよび観光ハブとして新千歳空港が各地域と連携を深めることにより、新鮮で希少性が高い北海道の魅力を収集、道内各地への観光を後押しすることを目的として実施。 シーニックバイウェイ北海道全体として協力を行った。 また、各地方空港との連携も加え、「北海道の空を旅する」ことを啓発しつつ、ドライブ観光の楽しみかたのアピールや地域による特産品の販売などの情報発信も行った。
		3ルート連携事業	10	十勝シーニックバイウェイ 連携研修会	十勝シーニックバイウェイ	平成24年6月13日（水）	3ルートおよび関係者で30名程度	—	今年度は南十勝夢街道が幹事ルートでお互いのエリアを視察する研修会を行った。お互いのルートを視察することによって、新たな発見や自分のルートの見直しとなった。視察の後は、3ルートでお互いのエリアについて意見交換を行った。今後も連携事業については続けていくことを検討している。
		3ルート連携事業	11	十勝シーニックバイウェイ 連携フォーラム	十勝シーニックバイウェイ	平成24年7月8日（日）	一般：200人程度 主催：50人程度	—	今年度は、「十勝の観光を十勝のみんなで語ろう」をテーマに着地型観光の商品企画で実績のある東オホーツクシーニックバイウェイの高谷弘志氏を講師にお招きし、具体的な観光商品づくり等についてお話しをお聞きした。 また、パネルディスカッションでは「十勝の着地・滞在型観光を考える」をテーマにオール十勝での観光について意見交換を行った。今後は、各エリアでの観光商品づくりに活かしていくこととしている。
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	3ルート連携事業	12	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト事業	シーニックバイウェイ＆ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会	平成24年4月～ 平成25年3月	3ルートおよび関係機関など 100人程度が参加	—	北海道ガーデン街道、十勝シーニックバイウェイ3ルート、大雪・富良野ルートの連携で次世代に良い景観を継承していくための植樹や景観保全の連携事業を実施。（植樹祭を5月19日に実施。）民間企業との連携にも繋がり、今後も継続して実施していく予定である。
		3ルート連携事業	13	シーニックカフェスタンプラリー	十勝シーニックバイウェイ	平成24年7月1日（日）～9月30日（日）	一般応募78人 （カフェ12箇所以上：20人）	—	今年度は、釧路湿原・阿寒・摩周シューニックバイウェイと連携を行い相互の観光情報の掲載を行った。参加者からも継続の要望があるラリーなので、費用の面など厳しいこともあるが工夫しながら継続を検討している。
環境	エコに関する啓蒙の推進、ゴミの削減による環境美化、カーボンオフセットの推進による環境の改善など、環境モデル都市・エリア実践のための連携を強化し、環境に関わる新産業による就業人口や移住・定住人口の増加を目指す。	3ルート連携事業	14	十勝シーニックバイウェイ連携事業 ：イエローリボンプロジェクト	とかちイエローリボンプロジェクト実行委員会	平成24年5月～8月	一般：100人程度 主催：20人程度	—	低炭素社会の推進、地域への取り組みの周知、観光振興事業として、今後は、継続して実施できるように活用の内容を見直しながら検討していく予定である。

十勝シーニックバイウェイ

トカプチ雄大空間ルート

A－1

TOKACHI Scenic Byway　Tokapuchi　Yudaikukan

活動名：トカプチまる得めぐり券　事業

【概　　要】今年度で3年目の事業となるトカプチ雄大空間内の施設をお得にめぐる「トカプチまる得めぐり券」（1,200円、2,000円の2種類）を販売した。観光施設20箇所、市内ホテル13箇所、観光案内所等8箇所と販売箇所を拡大し、委託販売とともに相互の施設においてPR活動を実施した。

　また、今年度の結果を受けて、平成25年度は、「とかちガーデンスイーツ温泉チケット」と名称および企画内容を変更する。JR北海道およびJTBの旅行商品に組み込みが決定し、更なる販売促進を期待している。今後も関係施設や旅行エージェントに売り込みを行って定期的な収入になるよう、販売先を広げていく。

【日　　時】 平成24年4月28日（土）～10月14日（日）※販売期間

【場　　所】トカプチ雄大空間エリア

【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

【参加人数】販売枚数：326枚（一般販売）

ガーデン+スイーツ・フード・ドリンク1,200円

温泉+フード・ドリンク　2,000円

●ガーデン+スイーツ・フード・ドリンク券（1,200円）対応施設

（ガーデン施設入場券1枚+スイーツ・フード・ドリンク他引換券2枚、ばんえい競馬入場無料券付）

【ガーデン＆施設】

真鍋庭園・紫竹ガーデン・おびひろ動物園・帯広百年記念館・ばんえい十勝・十勝ヒルズ

【スイーツ・フード・ドリンク他】

とかちむら・とかち物産センター・北の屋台・チューインガム・ダンデライオンドーナツ・新嵐山荘・焼肉KAGURA・すず喜・柳月スイートピアガーデン・まきばの家・池ワイン城・道の駅ステラ★ほんべつ

●温泉+フード・ドリンク券（2,000円）対応施設

（十勝川温泉入浴券1枚+フード・ドリンク他引換券2枚、ばんえい競馬入場無料券付）

【温泉・ばんえい競馬】

第一ホテル・観月苑・笹井ホテル・ばんえい十勝

【フード・ドリンク他】

とかちむら・真鍋庭園・紫竹ガーデン・北の屋台・とかち物産センター・チューインガム・ダンデライオンドーナツ・すず喜・柳月スイートピアガーデン・十勝ヒルズ・まきばの家・池田ワイン城・道の駅ステラ★ほんべつ

Tokapuchi 「食」と「癒し」で大地をつなぐ 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

十勝シーニックバイウェイ

トカプチ雄大空間ルート

A－2

TOKACHI Scenic Byway　Tokapuchi　Yudaikukan

活動名：ライフコンシェルジュ育成事業

【概　　要】十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」の育成事業の今年の大きな動きとして、十勝川温泉にある「十勝ヶ丘展望台のシーニックカフェ」に2名×35回の派遣を行い、十勝の観光情報を伝える活動を行った。その他、6つイベントについてライフコンシェルジュの派遣を行うなど、積極的に十勝の観光情報を伝える活動を実施した。今後は、この活動実績を活かし、ビジネスモデル化を目指す。

【日　　時】平成24年5月～10月末（活動期間）

【場　　所】十勝管内および札幌圏にて活動を実施

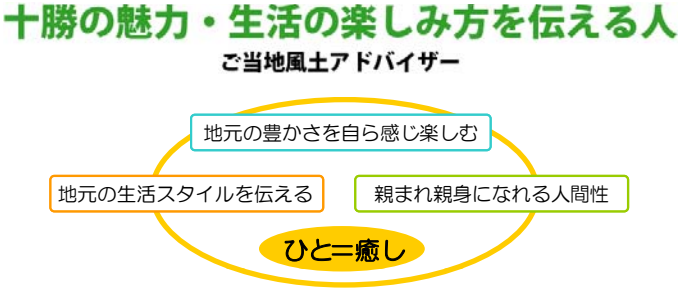
【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

【参加人数】ライフコンシェルジュ：１０名　派遣イベントは以下の通り

①十勝ヶ丘展望台ライフコンシェルジュ派遣事業（計35回）／　②ライフコンシェルジュと回るバスツアー
③北海道新聞花火大会プロモーション　／　④とかちマルシェ・十勝観光案内所
⑤とかちばん馬まつり・十勝観光案内所　／　⑥秋の十勝満喫モニターツアー
⑦札幌国際大学連携事業「十勝学フィールドワーク」

とかちマルシェ・十勝観光案内所

北海道新聞花火大会プロモーション



ライフコンシェルジュとは

Tokapuchi 「食」と「癒し」で大地をつなぐ 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

十勝シーニックバイウェイ

トカプチ雄大空間ルート

A -3

TOKACHI Scenic Byway　Tokapuchi　Yudaikukan

活動名：トカプチマップ事業

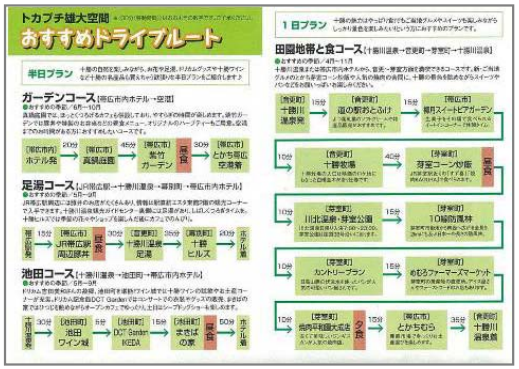
【概　　要】昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光ＰＲを含めたマップを作成し、観光拠点を中心に配布を行った。今年度は、持ち運びやすさや印刷部数増刷を目的にサイズを改善した。観光客からのマップの需要は高いことから、今後も観光プロモーションと合わせて続けていく。

【日　　時】制作期間　平成24年9月～12月　発行：平成24年12月

【主　　催】十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間

【マップ仕様】印刷部数：70,000部　サイズ：B1（折りたたんでB5）

配布箇所：ルート団体施設ほかエリア内の観光施設、札幌市内など



＜トカプチ雄大空間ルートMAP　抜粋＞

Tokapuchi 「食」と「暮し」で大地をつなぐ 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

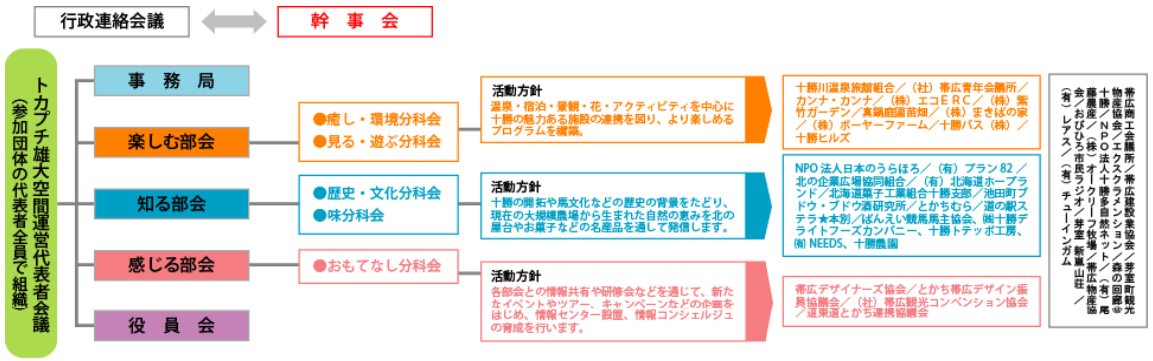
３. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称：十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間ルート	報告者：十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間	報告年月：2013/3/31

活動団体

十勝バス㈱、紫竹ガーデン遊華、真鍋庭園苗畑、北の起業広場協同組合、㈲プラン82、帯広デザイナーズ協会、とかち帯広デザイン振興協議会、帯広建設業協会(地域振興対策委員会)、カンナ．カンナ、NPO法人十勝多自然ネット、エクスクラメーション、森の回廊＠十勝、NPO法人あうるず、北海道菓子工業組合帯広支部、(社)帯広観光コンベンション協会、池田町ブドウ・ブドウ酒研究所、十勝川温泉旅館組合、道東道とかち連携協議会、芽室町観光物産協会、帯広物産協会、㈱北海道ホープランド、㈱まきばの家、㈲ボーヤ・ファーム、(社)帯広青年会議所、帯広商工会議所、㈱オークリーフ牧場、㈲尾藤農産、㈱エコERC、おびひろ市民ラジオ（FM-WING）、十勝ヒルズ、とかちむら、芽室町新嵐山荘、ステラ★本別 道の駅、㈲チューインガム、(社)ばんえい競馬馬主協会、㈱道の駅うらほろ直売会、㈲レアス、㈱十勝デライトフーズカンパニー、十勝トテッポ工房、㈲NEEDS、十勝農園

ルート運営体制（活動団体）



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議	● 4/25												※事務局会議は、12月末までで、38回開催。
	事務局・幹事会 打合せ	原則、毎週水曜日に開催。（必要であれば月曜日および金曜日も開催。）												
	部会・役員会	● 4/23												
	3ルート連携会議	● 4/18		● 6/29			● 9/18			● 12/19				

ルート名称：十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間ルート	報告者：帯広開発建設部	報告年月：2013/3/31

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議の実施		● 5/8				● 9/10					● 2/26予定		

4．ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称：十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間ルート	報告者：帯広開発建設部	報告年月：2013/3/31

	ルート（エリア）運営活動計画方針	平成２４年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
観光	陸・水・空・時の四次元ルートを完成させ、日本で有数の観光客を集客するために、基本となる十勝人の歴史や十勝のスウィーツについて学び、ライフコンシェルジュの育成と女性プロジェクトを実践し、ルートの地域資源発掘に力を入れる。そして、これらを基に魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行う。更に、地域住民と観光客との双方向コミュニケーションを充実させていく。	十勝シーニックバイウェイPR活動	平成24年8月	帯広開発建設部	新千歳空港で行われたイベント「北海道魅力発見博」に参加し、十勝シーニックバイウェイの紹介、説明などのPRを行った。空港での開催であるため、道外からの観光客が多く、十勝の魅力を発信する貴重な機会となった。 今後もイベント等でのPR活動を積極的に行っていきたい。	行政機関とルートが連携した取組を行うことにより効果がよりいっそう高くなっている。今後も行政とルートとの連携を強化しPRのため広域での取組を行っていく必要がある。	14
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	とかちイエローリボンプロジェクト	平成24年5月～10月	自治体 商工会 帯広開発建設部	各自治体、商工会、帯広開発建設部で、ひまわり植栽に向けて実施箇所検討及び種植えに積極的に参加した。 地域の景観向上のため今後も継続して取り組めるよう検討を行うことが必要である。		13
		人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	平成24年4月～平成25年3月	自治体 商工会 帯広開発建設部	植樹における植樹箇所及び道路占用許可申請の調整等を行った。また、植樹祭（5月9日）へ参加し本プロジェクトの活動についてPRすることができた。 今後は、植樹希望箇所が国道以外もあることから、関係自治体等と連携して進めていく必要がある。		12

５. 平成23年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称：十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間ルート	報告者：十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間	報告年月：2013/3/31

平成23年度活動報告への助言	平成24年度　状況報告	備考
シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動等を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれたい。	○情報発信やPR活動、人材育成について 「とかち癒（ゆ）とりフェスタ」事業は、一昨年度（1年目）「十勝管内対象」、昨年度（2年目）「道央圏対象」、本年度（3年目）は、「首都圏対象」の3年計画で、十勝の魅力を中心に、シーニックバイウェイやその活動についてPRや情報発信を行っている。今年度は、首都圏を対象に十勝の観光プロモーションの他、トカプチまる得めぐり券の売り込みを実施し、交流人口の増加や販売先の拡大などの活動を行った。チケット事業は、来年度もエリアを超えて販路を拡大していく予定である。 また、癒とりフェスタ事業の中で実施している「ライフコンシェルジュ（ご当地風土アドバイザー）」事業については、今年度は、十勝の様々な内容を更にPRできるよう十勝検定の合格者を対象に声かけを行い、ライフコンシェルジュの人数も増加した。特に今年度については、管内、管外の観光イベント多数にライフコンシェルジュを派遣し、シーニックバイウェイの認知度を高めるほか、十勝観光の「おもてなし」や情報発信、PR活動を行った。 今年度の大きな動きとしては、十勝川温泉旅館組合が運営する「十勝ヶ丘展望台」において、ライフコンシェルジュの派遣を行い、期間中、35回に渡り観光客を対象に「おもてなし・PR活動」を実施し、好評をいただいている。今後も継続的なビジネス展開を目標に今年度の課題を踏まえて検討していくこととしている。 ○広域連携について 現在ルート内の事業所と協力し「トカプチまる得めぐり券」事業や携帯ラリー等を実施しているが、さらなる広域連携として「北海道カフェスイーツ街道事業」を関係機関と連携し、来年度の始動を目指している。北海道カフェスイーツ街道は旅行エージェントからの要望があり立ち上げており、十勝管内での要望は高い。また、十勝管内で実施されている様々な街道事業と連携しながら、十勝管内へお客様を呼び込むため、プロモーション・PRを進めていきたいと考えている。	

ルート名称：十勝シーニックバイウェイ　トカプチ雄大空間ルート	報告者：帯広開発建設部	報告年月：2013/3/31

平成23年度活動報告への助言	平成24年度　状況報告	備考
シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動等を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれたい。	○情報発信やPR活動、人材育成について 情報発信やPR活動においては、首都圏を対象に十勝の魅力を伝えるPR活動を積極的に行うほか、トカプチまる得めぐり券の売り込みを実施し、交流人口の増加や販売先の拡大などの活動を行った。チケット事業は、内容の充実、販路の拡大を行うことにより、販売・利用数増、十勝のPR効果が期待される。 人材育成においては、シーニックカフェ「十勝ヶ丘展望台」において、ライフコンシェルジュの派遣を行い、期間中、35回に渡り観光客を対象にPRを行い、好評をいただいていることから、今後の更なる活動が期待される。 ○広域連携について 十勝シーニックバイウェイ3ルートの取組として、とかちイエローリボンプロジェクト、連携フォーラム、シーニックカフェスタンプラリー、合同研修会を行った。連携フォーラムでは一般者の参加拡大、シーニックカフェスタンプラリーでは参加者の拡大の成果がみられた。 十勝シーニックバイウェイ3ルート、大雪・富良野ルート、北海道ガーデン街道で取り組んでいる人と未来をつなぐ100年の木プロジェクトは、民間企業との連携など新たな活動が始まったことから、今後の活動内容の実現に向けた展開が期待される。	